

経営比較分析表（令和5年度決算）

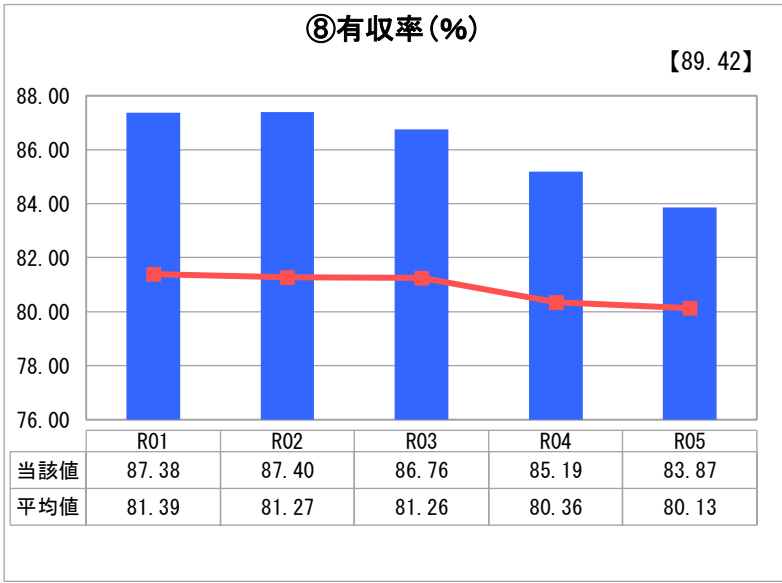
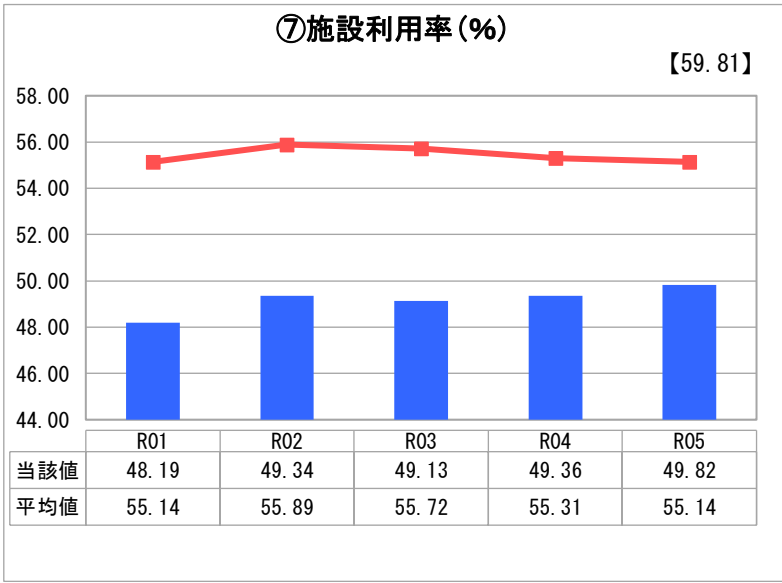
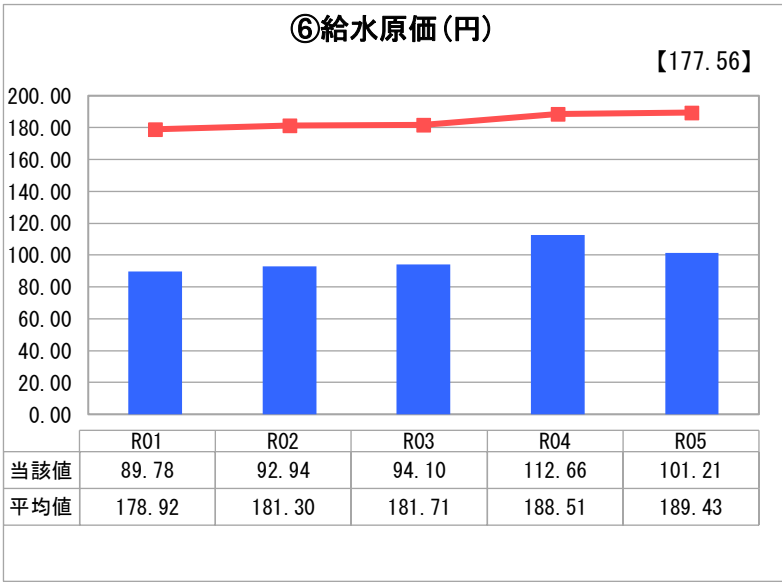
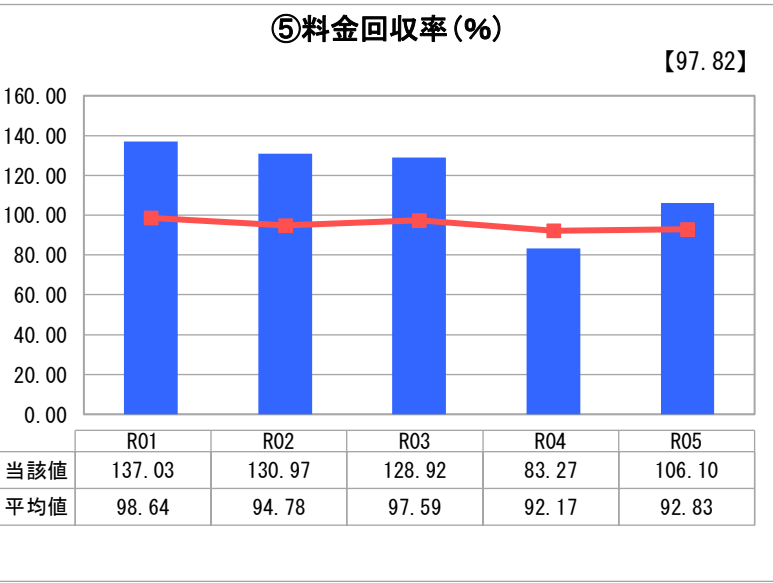
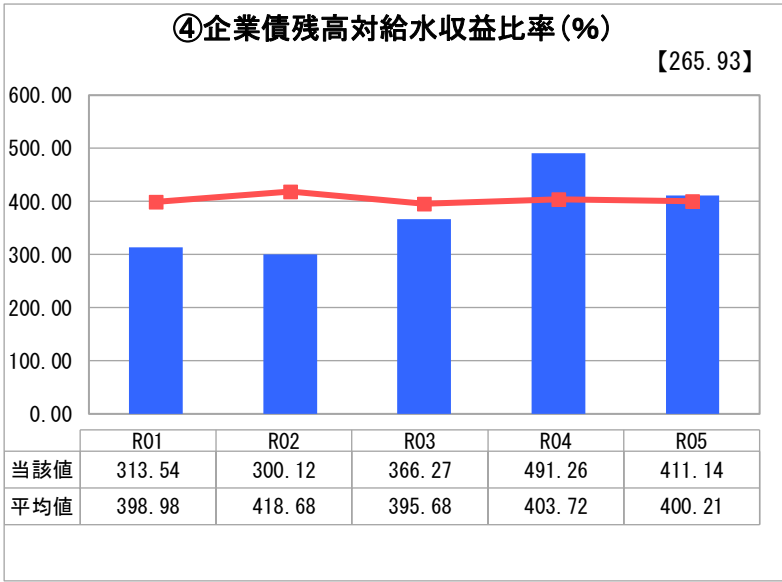
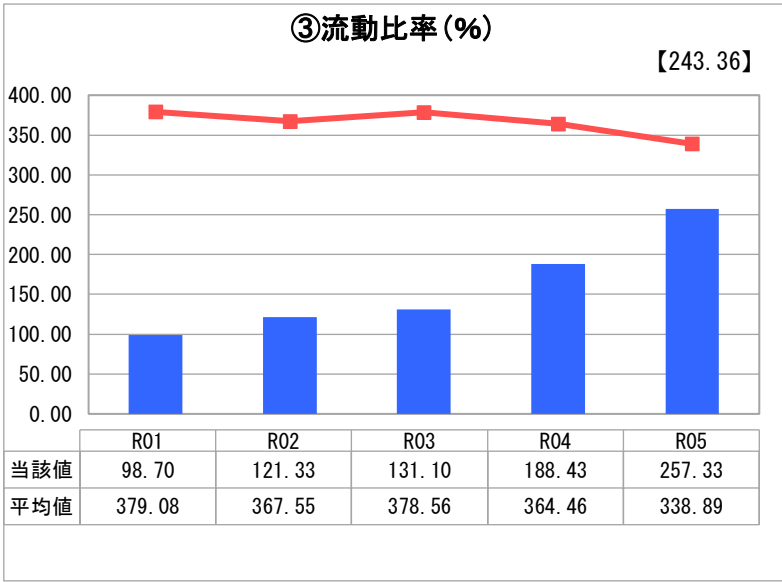
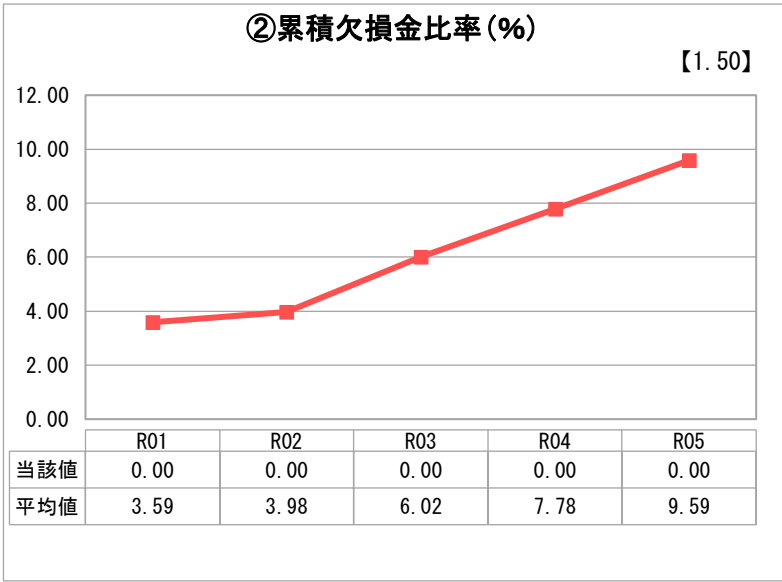
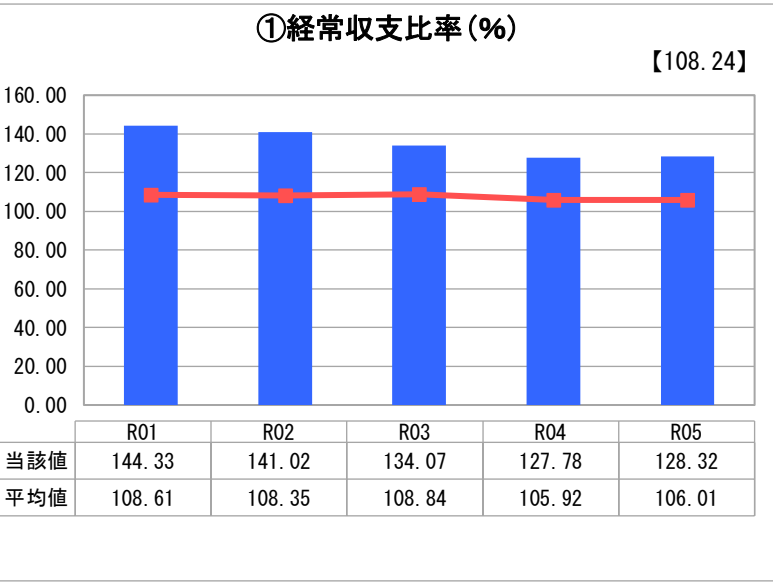
神奈川県 大井町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A6	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	70.13	99.93	2,183	

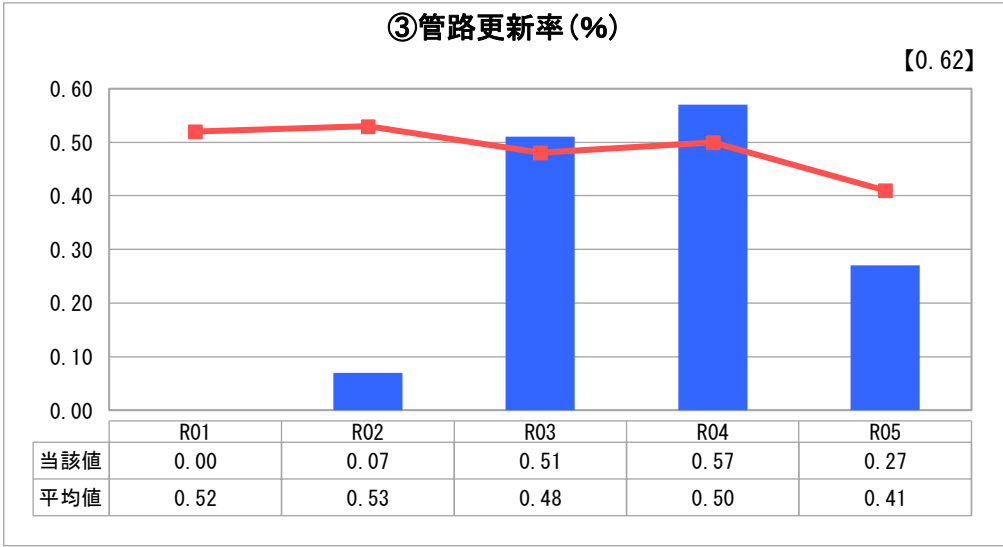
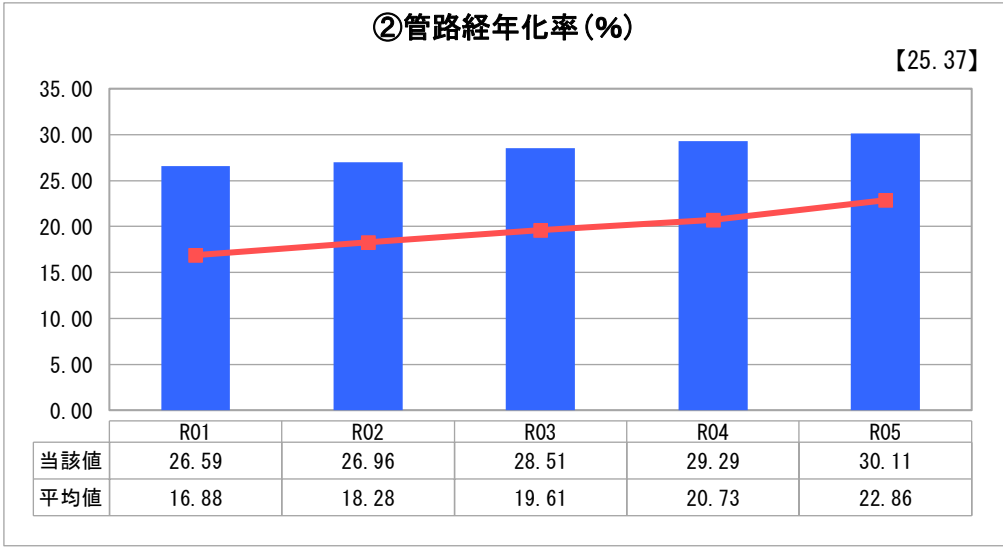
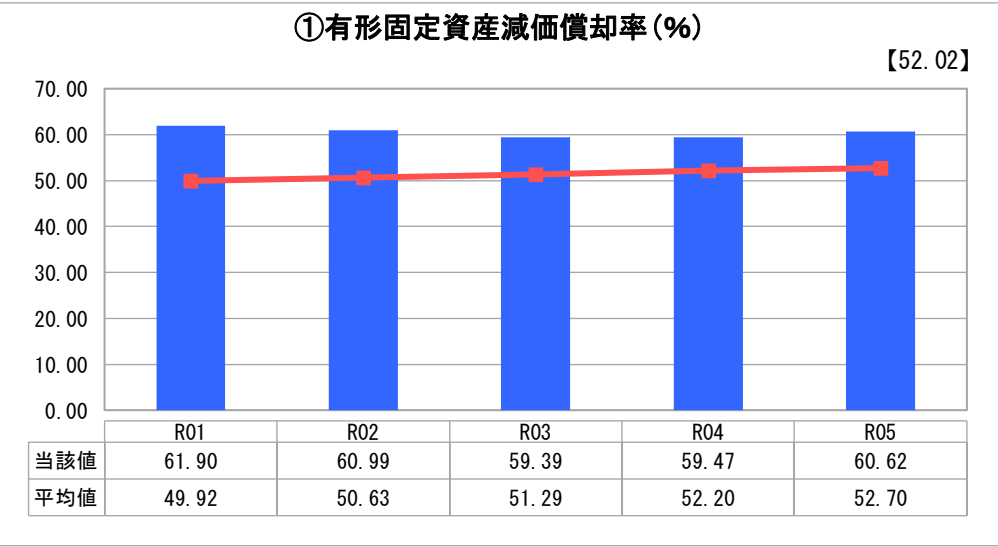
人口（人）	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
17,473	14.38	1,215.09
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
17,449	14.38	1,213.42

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率が100%を超え、累積欠損金比率が0%であるため、黒字経営を維持できております。流動比率は右肩上がりに推移し、200%を超えましたが、類似団体平均値に比してまだ低い水準にあります。

企業債残高対給水収益比率が類似団体平均値を上回っておりますが、こちらは令和5年12月調定分から令和6年3月調定分まで基本料金の減免を行ったことによるものであり、基本料金の減免を行わなかった場合は類似団体平均値を下回ります。

給水原価は前年度より委託費や動力費等が減少したことにより減少しましたが、前々年度以前と比較すると高い状況です。

有収率は類似団体平均値に比して高い水準となっておりますが、右肩下がりの状況であるため、漏水調査等を継続し、有収率の向上を図るとともに、施設利用率が50%を下回っていることから、施設利用率向上について検討して参ります。

2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率が令和3年度から年々増加しているとともに、類似団体平均値に比して高く、老朽化が確実に進行しています。また、管路経年化率も増加傾向にあり、管路更新率も類似団体平均値を下回っています。引続き施設及び管路の更新を進め、有形固定資産減価償却率及び管路経年化率の改善に努めます。

全体総括

経常収支比率が類似団体平均値に比して高くなっていますが、流動比率が類似団体より低く、有形固定資産減価償却率や管路経年化率が高くなっており、災害に対する備えや突発的な費用の発生に対する備えが不足している状況です。

今後も効率的な経営に努めるとともに、着実な設備更新を進め、災害等不測の事態に備えつつ、安定的に水を供給できる体制を整えて参ります。